

行財政改革特別委員会（8月4日～5日）

佐倉市：ファシリティマネジメントについて

さいたま市：公共施設マネジメント計画について

佐倉市は、平成19年よりファシリティマネジメントの考え方を取り入れ、市所有の土地、建物などを有効活用し、無理、無駄のない財政運営を行ってきています。小中学校や消防署の建て替え耐震工事、減築設計、水道料金の見える化などで合理化を図っています。

さいたま市は、施設の老朽化、インフラ整備など公共施設の効果的・効率的な管理運営を進める公共施設マネジメント計画を策定しています。新規整備は原則行わず今の施設を有効活用する、今の経費の範囲でインフラの整備・維持・管理を行うなど、ハコモノ・インフラ三原則を目標に掲げ取り組んでいます。

（委員長 塚本裕三）



佐倉市

都市整備特別委員会（8月4日～5日）

糸魚川市：交通ネットワークビジョンについて

足立区：防災街区整備事業について

糸魚川市は、世界ジオパークに認定され、北陸新幹線の開業もあって観光に力を入れていきます。都市計画を見直し、建築や開発に規制や誘導を掛けながら主要幹線道の整備を行い、環境整備を進めています。

足立区は、道路に面さない建て替えるにも困難な住宅や行き止まりの路地など、防災上や環境面で課題のある老朽住宅が密集した市街地を、国の支援も受けながら町並みの整理を行っています。

いずれも住民の理解と協力で生活環境の改善に結びついている事業であり、今後のまちづくりに向けて大変参考になりました。

（委員長 千葉壮太郎）



糸魚川市

特別委員会の視察報告

競馬場跡地活用検討特別委員会（10月20日～21日）

足立区：ギャラクシティについて

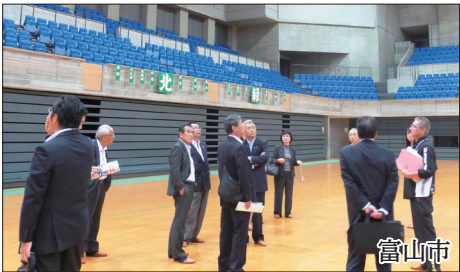
富山市：富山市総合体育館について

足立区のギャラクシティは、平成6年に事業費約130億円で作られました。子どもが遊びながら学べる複合体験型施設となっており、指定管理者制度で運営されています。年間の事業数は4千件を超え、約160万人が利用しており、教育効果を考えた遊具の設置など今後の参考にまりました。

富山市総合体育館は、平成11年に約163億円の事業費で完成し、国際大会などの大規模イベントに加え、市民のための日常的なスポーツ活動にも対応できる施設と

なっており、本市が進める総合体育館建設に向けて、大変参考になりました。

（委員長 高橋輝幸）



富山市

編集後記

平成24年の改選後の定例会から一問一答方式を導入、多くの議員が一問一答方式を選択し、より活発な議論が交わされています。

同時に、議会だよりもページ数を増やし、市議会の活動をより深くお伝えできるようになりました。この4年間で、ロゴの刷新、レイアウトの変更、ホームページへの誘導などとともに、表紙写真も委員が撮影し、皆さまに親しみやすい議会だよりとなるよう、全委員一丸となり編集に取り組んできました。

今後も、皆さまに議会の活動をわかりやすくお伝えし、親しまれる「ふくやま市議会だより」になるよう委員全員で努めます。

（今川享治）



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

【ホームページアドレス】 <http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/gikai/>

【メールアドレス】 giji-chousa@city.fukuyama.hiroshima.jp

